

# 寸 胴

THE GIFU UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN

第 5 号 1991. 10

## 目 次

骨を愛して30年（岡 伸光）	1
古代ギリシアの図書館は・・・（吉田千秋）	3
教官推薦図書 遺伝資源の保護（安江多輔）	5
社会主義とは？（竹内章郎）	5
外国雑誌の購入価格について（整理第一係）	6
平成2年度基本図書購入リスト	7
図書館関係会議など	7
図書館員から一言 傍嶋敏雄	8
山田克良	8
お知らせ	8

## 骨を愛して30年

岡 伸 光

私が岐阜大学医学部の前身である岐阜県立医科大学の口腔外科学教室に入局し、初めて研究らしいものを手がけたのが昭和32年で、その時のテーマが“硬組織の無機質代謝について”でありました。以後、歯の3つの硬組織（エナメル質、象牙質、セメント質）と骨について、アイソトープである<sup>45</sup>Ca, <sup>32</sup>P, <sup>80</sup>Srをトレーサーとして、いろいろやってきましたし、今もなお続いている。現況は、いろいろなことが解って来た以上に解らないことが次々と出て来てこの状態はendlessに続していくのではないかと思います。特に骨は今、最も興味ある組織として各方面から注目され研究されております。その背景には、宇宙医学の重要な課題の一つである無重力下での骨の退化現象があります。長期間宇宙に滞在した飛行士が地球に帰還して地上に立とうとしたとき骨が脆くなり自分の体重を支えるだけの支持力がなくなつて

いたといった話は皆様もお聞きになったことがあると思います。これは骨の力学的なストレスに対する反応と考えられますが、このことは、随分以前から知られていて、歯科では、歯並びをなおす矯正術に応用されています。いま、歯を右側に移動させようとしてわずかな力を加えますと、押された側の骨には吸収がおこり、引っ張られた側では骨の添加がおこり、結果として歯がうまく移動してくれるのです。

骨は体の支持器官として、筋肉と共に運動を、あるものは内臓の保護を、またあるものは身体の支持（脊椎）の役割をしていることはよく知られていますが、もう一つの重要な機能として体液の恒常性（ホメオスタシス）を保つ上で活発な代謝を行っており、一生涯を通じ、休みなく改造（リモデリング）が繰り返されていることがあります。これは生体（脊椎動物）が生きていくた

めにはミネラルが必要であり、骨組織がこのミネラルの貯蔵所（生体の全Caの95%，Pの85%，Mgの60%，Naの25%が骨に存在する）となっていることも古くから知られていたことですが、実は骨が単なる貯蔵所ではなくて、活発にイオン交換により体液中のミネラルの濃度を一定に保つ為の基本的な器官となっていることが<sup>32</sup>Pをトレーサーとした実験（1935年）で解りました。これまで硬組織の硬いということが研究上の大好きな障壁となって進歩を妨げてきましたが、アイントープが利用できるようになって、急速に骨代謝の研究が盛んとなり、第二次大戦後は、我が国でも硬組織研究班が組まれ多方面からの研究が行われてきました。本学でも医学部と農学部でRI研究室ができ、私の先代の故茂田貫一岐大名誉教授が先鞭として硬組織の無機質代謝の研究を始められました。この研究グループの一員として私も加えて頂いたわけです。

以来、当教室のメインテーマとして研究を続けていますが、当初、私の役割は文献の収集でした、県岐医大の当時の図書館（図書室？）で、抄録カードをもって文献を探し、その抄録を筆記しては次の雑誌を探すといった埃りまみれ、汗まみれの苦闘が続きました。昭和35、6年頃になって複写機が入り、大いに役立つものと期待しましたが、日にあたったり、すこし古くなると茶色くなつて判読不能となる代物で、次いで出たのがべとべと湿った紙のものでした。しかし、カメラでミニコピーフィルムに撮るよりは楽でしたので湿った文献を部屋中に並べて扇風機で乾かして大事に保存しました。

今の文献探しの状況をみてると、隔世の感がしますが、とにかく研究費、研究施設、実験機器等研究環境は劣悪ではありました、精神力だけは旺盛で頑張りました。

#### CD-ROMをご存じですか？

CD-ROMとは、Compact Disc Read Only Memoryの略称です。

冊子体資料の調査に比べると、検索語が多いこと、組合せ検索ができること等がまずあげら

骨の話からそれましたので、また骨の話に戻りますと、いま骨代謝学会におけるトピックスとして注目を浴びているものを大約しますと、1)骨の基礎的研究 2)カルシウム調節ホルモンとサイトカイン 3)骨の臨床の3分野になると思います。その原動力となっているのは、研究技術の著しい発展によるもので、構造と機能が分子レベルで理解されるようになったことであります。骨の石灰化現象から成長因子、また骨の改造、骨の吸収現象、臨床では骨粗鬆症や関節リュウマチをはじめとして各種の代謝性骨疾患の病態が明らかにされつつあります。

いま、教室ではラットに発癌させた骨形成肉腫を用いて、骨誘導因子を抽出し、これを骨の無機質の組成と類似のハイドロオキシアパタイトにまぜ人工骨として臨床応用できないかを実験していますが、まだまだ思うようにはいきません。私の専門である口腔外科におきましては、顎骨の腫瘍などで、顎骨切除をすることもしばしばありますが、切除後の顎骨再建に自家骨以外によい人工骨の出現が望まれております。また歯が無くなった後に人工歯根（インプラント）の移植についての研究も盛んで、すでに臨床応用もたくさん行われてはおりますが、まだ完全なものではありません。これらの臨床面からの要望に一日でも早く答える為にも骨の研究は急がれております。

しかし、骨代謝の研究は世界的なレベルで活発に行われ、確かに多くの新しい知見が得られては来ましたが、他方まだまだ解らないことも多くあり、むしろ解らないことが増えてきているようにも思います。

私も老骨に鞭打って、残された研究活動期間を骨の研究に注ぎ、いささかでも貢献できればと願っております。

（おか のぶみつ：医学部分館長）

れます。オンライン検索と比べると、時間・料金を気にせずに調査でき、しかも、オンラインで可能な検索手法をすべて具備しています。

附属図書館でも、いくつかのCD-ROMを所蔵しています。どうぞ、ご利用ください。

# 古代ギリシアの図書館は・・・

吉田千秋

昨年、本大学の二先生といっしょに、古代ギリシア文明の遺跡を訪ねまわった。そのなかでひときわ印象深かったものに二つの図書館跡がある。どちらもヘレニズム時代のもので、ひとつはペルガマ（古代名はペルガモン），もうひとつはエフェス（古代名はエフェソス）にある。有名なトロイの遺跡からバスで数時間づつ南下した地点である。

先に訪れた図書館、ペルガモン図書館を造ったペルガモン王国は、アレキサンダー大王没後の紀元前260年頃、現在のトルコ西岸部に興った小国ひとつである。小国ではあるが農作物と羊製生産物が豊かで、エーゲ海を利用した貿易も活発におこなわれ、近隣のピトレマイオス（エジプト）王朝と並ぶほどであった。わけてもエウメネス二世時代には、壮麗なゼウス神殿をはじめ数多くのものが小さな丘にところ狭しと造営され、栄華をきわめた。その発掘品の多くはペルガモン博物館（旧東ベルリン）に収納されており、現場は夢の跡が散在しているのみである。

その跡のひとつが図書館である。現在、隣接するアテナ神殿とともに修復中であり、大理石の柱が山積みされていた。したがってその夢の跡すら十分見られず、古代の図書館がどのような状況になっており、人々がどのような姿勢で、どのような目つきで書物を読んでいたのか、なにひとつ想像できない。修復後もう一度訪れてその壮大な姿を前にし、あらためて想像力をかきたてたいものである。

ところで、この図書館は当時随一であったアレキサンドリアの図書館（蔵書数40万巻といわれている）に負けじと造られたもので、豊かな資金を投入してそれに迫るほどになった。ところが、誇り高いピトレマイオス五世は、ナイル川辺にだけ産出する用紙原料パピルスの輸出を禁止してしまった。弱ったエウメネス二世はなんとかせざる

をえず、漂白した羊の皮で用紙を作るよう命じ、完成させた。これが *pergamena*（ペルガマ紙）であり、その後近代に至るまで使用された羊皮紙（parchment）であった。これでもって蔵書数20万冊（一説では規模からみてこんなには収蔵できないといわれている）を誇った。

だが、後年、例のアントニウスが愛人クレオパトラへの贈り物としてこの大部分を持ち去り、さらに焼き捨てられるはめになった。幸いにもアリストテレスの写本の一部は残されたようで、彼の哲学を今日に伝える一つのルートになったのである。それにしても、知的世界の集積が権力の盛衰と運命をともにした歴史のこのような一コマを知ると、なにか現代にも通ずるような気がして、感慨深くさせられる。

さて、もうひとつの図書館はケルスス図書館という名がついている。時代は少し下ってペルガモン王国がローマ帝国領となり、アジア州がおかれて、エフェソスがその州都となった。その州知事ケルススを記念して建てられたこの図書館も規模が大きく、上記の二つに次ぐものである。古代でナンバー3ということになる。うれしいことにこの図書館については、その一部が現存している。しかも、すばらしい二階建てのファサード（façade 建物正面）が残っているのである。

エフェソスは当時では五指に入るほど大きな都市で、世界七不思議の一つ、莊厳なアルテミス神殿が沖合はるかから眺められた大きな港町であった。この神殿はいまは半壊した柱一本だけを残す廃墟になっているが、町の中心部は見事なたちで発掘され、古代世界のまったくなかに招いてくれる。二万人を擁する巨大な円形劇場、そこからまっすぐ波止場に通ずる幅広い街路、典型的なローマ建築様式のハドリアヌス神殿やトラヤヌスの泉、大理石を敷きつめたクレテス通り、どれも

これも目をみはるばかりである。夜も更け、野外劇の感想をあれこれ言いあい、油火の灯された店に立ち寄ったりしながら帰路につく人々——その賑わいはいかばかりであったろうか、想像するだけで楽しくなる。

しかし、図書館のファサードの前にたって仰ぎみたときはためいきをもらしてみとれてしまい、他のものをいっきょに忘れててしまうほどであった。建物自体はさほど大きくはなく、幅約20メートル、高さ16.7メートルほどのものだが、なんといっても美しく、壮麗である。9段の階段の上に8本のコリント式円柱が並び、そのすぐ後に3ヶ所の入口、四つの壁面がある。二階部分もほぼ同じ構造になっているが、円柱はやや細く、入口部の上に半円形と三角形の破風がつけてある。建物の屋根は残っていないので、二階の三つの入口から青々とした空が見え、緑がかった白い大理石とみごとな調和をなしている。

特筆すべきは、一階の壁間に飾られた4体の女性（女神）像である。目の高さほどのところに台座があり、左から順に、ΣΟΦΙΑ (sofia), ΑΡΕΤΗ (arete), ΕΠΙΣΤΗΜΗ (episteme), ΕΝΝΟΙΑ (ennoia) と記されている。それぞれピッタリした訳語をあてにくいが、知恵、美德、学問、熟考というところである。図書館にまことにふさわしい標語といえようが、これを具象化したほぼ等身大の像がこの台座の上に立っている。残念ながら、顔の部分が残っているのは最初の二つだけである。知恵はなぜこの顔で、美德はなぜこの顔に表現されるのかは、正直なところ

まったくわからない。そんな詮索は別にして、これがじつに清楚で、かつ魅力的なのである。知の殿堂にふさわしいといってもよいだろうが、こういう美しい女神に迎えられる知の営みはさぞや楽しかろうと、当時の学徒がうらやましく思えてくる。

ところが、じつはこの像は本物でなく、本物はウイーンにあるとのことである。ペルガモンの発掘品もそうであったが、シュリーマンのトロイ遺跡の発見以来、トルコ西岸の発掘品はことごとくドイツ圏へ持って行かれたのである。はたしてこの女神像の本物をウイーンで見ても感激するだろうか。やはりそれは、現場にあってこそ本来の意味があるにちがいない。

二つの図書館跡を訪ね終わってから、この壮麗な図書館を利用したのは上流階層のみだったことを想い起こし、ふと、ペルガマのバスセンターで会った女の子のことを考えた。センター内にある店の子で、写真を撮ってあげたら、おやじさんの名刺を追っかけて持ってきたかわいい子である。いまペルガマには彼女が利用できる図書館があるのだろうか。彼女の学校の図書室はどんなもので、彼女はたくさん本を読んでいるだろうか。どんな顔をして本を読んでいるのだろうか、などなど。古代ではなく、現代の想像をめぐらしているうちに、なぜかあの子と、ケルスス図書館の女神とが重なりあって、トルコの旅のよき思い出となってしまった。

(よしだ ちあき：教養部教授〔工業短大部併任〕)

#### J-BISC を検索してみませんか？

J-BISC とは、Japan Biblio diSC の略称で、国立国会図書館で所蔵している昭和44年以降の和書、約100万冊の目録です。

書名、著者、件名等の用語で、完全一致検索、前方一致検索、そして、AND検索、OR検索ができます。用語が曖昧な時はその前後の用語の一覧を見ることもできます。また、分類番号や ISBN 等のコードからの検索も可能です。

#### CD-HIASK を検索してみませんか？

CD-HIASKは、朝日新聞の全文記事データベースです。東京、大阪、西部（九州・山口地区）、名古屋の各本社の最終版を対象に年間約10万件の記事が収録されています。

自由語、掲載日付を始め、主題分類、国名、記事種別（評論、解説等）からも検索でき画面への全文表示も可能ですが、本紙記事へのアプローチも容易になりました。

## 教官推薦図書

教官から、その専門分野を専攻しようとする学生に先ず薦めたい入門書・基本図書、あるいは、より多くの教官・学生に教養書として是非一読を薦めたい専門図書を紹介していただいている。

### 遺伝資源の保護

安江多輔

西暦2000年には世界の人口は60億に達すると推定されている。人口が増えると食糧が足りなくなる。人口の増加と食糧増産のための農地の拡大とともに開発を伴う。

1982年に開かれた国連環境計画の管理理事会ではもはや開発一辺倒の主張ではなく、Sustainable Development（持続可能な開発）が新しい合い言葉として登場した。土、水、生物などの自然資源の永続性が保証されるよう、過度の利用を避け、環境の安定性を維持しながら開発を進めようという趣旨である。しかし、現実には、開発に伴ってさまざまな形での自然破壊が進行しており、貴重な動植物が絶滅の危機にさらされている。

地球上の遺伝資源を保護し子孫に残すことを主眼として1974年に発足したIBPGR（International

Board for Plant Genetic Resource：国際植物遺伝資源委員会）は今年度中にIPGRI（国際植物遺伝資源研究所）に発展設立される予定である。

遺伝資源について次の3冊を推薦したい。

- (1) 「遺伝資源一種の保全と進化」O.H. フランケル、M.E. ソレー著、三菱総合研究所監訳、家の光協会、1982：野生の動植物、家畜、栽培植物等の生物学的保全を主題にし、自然保護に関連した遺伝学と進化の問題を包括的に述べている。
- (2) 「植物遺伝資源」遺伝40巻10号 1986：植物遺伝資源の探索、収集、保護、評価、利用及び情報システム等について特集されている。
- (3) 「遺伝資源」遺伝 別冊 No.3, 1990：遺伝資源の保全にかかるいろいろな問題が全体的に特集されている。 (やすえ たすけ：農学部教授)

### 社会主義とは？

竹内章郎

89年以来、明確な形をとって現れている「社会主義」と呼ばれた諸国の崩壊現象については、革命か、改革か等々をはじめとして、様々な議論がある。これら諸国の現実は、「各人の自由な発展が、同時に、万人の自由な発展の条件となる社会」（マルクス）や、「社会主義は官僚的な機械的態度とは縁もゆかりもない。生きた創造的な社会主義は、人民大衆の創造物である」（レーニン）などの、社会主義ないし共産主義思想の古典的文献に相反するものであった。他方で、資本主義国が、社会保障、生存権擁護のみならず、経済における国家介入などの計画性に関して、社会主義的要素を取り入れた事実もある。

ここらで、「社会主義」諸国と社会主義思想について、私達が考えるのも、決して無駄なことで

はあるまい。加藤哲郎『東欧革命と社会主義』（花伝社）は、フランス「人権宣言」の、自由・平等・友愛の真の実現こそ社会主義だという観点から、東欧の事態を、政治権力関係の短期的凝集的転換故に市民的な民主主義革命とし、更に、國家権力の社会による再吸収というマルクス思想に注目している。平子友長『社会主義と現代世界』（青木書店）は、経済システムの中での労働の生産力と資本の生産力との関係から、かの諸国の崩壊の事実的因果関係を究明し、同時に、マルクス思想における生産力と変革主体との関連の問題性を提示している。浅薄で表面的なメディアの流す情報とは違い、この二著は、社会主義を巡る思想と現実の双方の本質に、私達を誘ってくれよう。

（たけうち あきろう：教養部助教授）

## 外国雑誌の購入価格について

外国雑誌は通常暦年で出版され、出版の前年に支払付き予約によって購入契約がされるのが国際商慣習となっている。図書館では10月には書店に予約している。したがって、国の会計制度が会計年度独立の原則により翌年度の債務負担ができないため、書店が大学に代わって出版社に予約発注と送金業務を代行している。正式契約は翌年4月の会計年度当初にその年の発行（通常暦年）分の雑誌について前金一括契約をしている。なお、外国雑誌は通常出版元から図書館へ直送される。

外国雑誌の購入価格の設定方式は、各国立大学はほぼ全国一様で、外貨建雑誌は係数方式であり、円建雑誌はカタログ円定価からの値引方式に大別される。係数方式とは、あらかじめ算出した諸経費率（手数料率）を加算した比率を係数として設定し、基準為替レート（前年11月1日から15日までの間の電信売の実勢レートの平均値）に係数=加重平均した全通貨一律の係数を掛けて各通貨単位の換算レートを算出する方法である。ここで算出された通貨単位別の換算レートに雑誌の外國定価を乗じて該当雑誌の購入価格が決まる。値引方式とは、国内総代理店によって円定価のもとに販売されている円建雑誌について適用されている。購入価格はカタログ円定価からの値引率によって決まる。しかし、カタログ円定価の設定時期は明確でなく、各通貨単位当たりの換算レート（書店換算価格）も必ずしも実勢レートを反映したものとはなっていないことから、外貨建の各通貨毎の換算レートに近づけるよう値引率を算出しているが、原価の把握が困難であることや、代理店契約に伴うリスクに対する経費を加算していると思われ、価格が高くなる傾向がみられる。

岐阜大学における外国雑誌の購入総額は、前年に比し14.37%上昇して111,724千円(1721誌)となった。外国雑誌の購入については、為替相場の変動はもちろんのことであるが（状況によっては雑誌価格の上昇を補うこともあれば深刻化することもある）、一つに原価の値上がりという大きな要因を考慮にいれなければならない。米国的主要

な出版社で発行される雑誌は毎年10%近い値上がりがみられ、ことに1991年は平均12%も値上がりがあった。ちなみに1992年の米国出版社の平均値上がり率は17%，英国出版社は15%と予想されている。なかでもACS, APA, AMAは20～36%の値上がり率といわれている。次に外国の出版社が設定している「差別価格」を見逃すわけにいかない。図書館に適用する団体向けの価格が個人向けの価格より大幅に高く設定されている。特に理工系のコア・ジャーナルに著しい。もう一つは出版国の国内価格よりかなり高い外国向価格が設定されている。これらの価格は版元価格といわれるもので、通常はここからディスカウントされた価格が書店の仕入価格である。ただし、国内書店を通して購入する外国雑誌の価格は、外国向価格が基礎となっていてディスカウントが表面に出てこない。そこで国内価格で仕入れができる、さらに取引量の多さでディスカウントが有利な外資系企業（雑誌取次業者）に日本市場への参入を促す要因がある。

外資系企業の参加を得て外国雑誌購入における競争原理導入の展望が開け、段階的に試行を進めた大学が出てきている。一方、円建雑誌についても、並行輸入による価格の引き下げを外資系企業の参入によって実現した例もある。しかし、契約業者の変更に伴う安定供給の確保については、十分考慮されなければならない。一般に円建雑誌は1誌当たりの単価は外貨建雑誌に比べて高く、また科学技術関係のコア・ジャーナル、すなわち需要度が高い、いわゆる売れる雑誌であり安定的入手は容易である。そこで価格面、安定供給面から判断を下し、本学でも円建雑誌の一部について見積り合せを実施する予定である。

外国雑誌の特殊性、価格の設定方式、価格が上昇する要因及び価格を引き下げる環境等を簡単に述べてきたが、紙面の都合で言い足りない面もあるかと思われる。教育研究活動を進めるに当って、外国雑誌の重要性はいうまでもない。購入契約事務においては適正な価格で購入すべく努力する必要があると考える。

(整理第一係)

## 平成2年度 基本図書購入リスト

資料選定委員会によって選定された下記資料を購入しました。なお、  
これらの資料は分類別に備え付けておりますのでご利用ください。

世界大百科辞典 全35巻	本館	家政学・生活学研究基礎文献集	
The 19th Century Short Title Catalogue.	本館	復刻版 全11巻	本館
1816-1870 Vol. 1 - 8		電気・電子材料ハンドブック	"
日本近代思想大系 全23巻 別巻1巻	"	レーザーハンドブック	"
臨床心理学大系 全16巻	"	土木工学ハンドブック I・II	"
昭和二万日の全記録 10-18巻別巻	"	機械工学便覧 基礎編・応用編	"
入江相政日記 全6巻	"	UNIX 入門 (VTR)	"
植木枝盛集 全10巻	"	ソルフェージュ選書 全6冊	"
国民生活時間調査 復刻版 全8巻	"	言語学大辞典 全6巻	"
全国師範学校ニ関スル諸調査(復刻版)	"	Webster's New International Dictionary.	
阿部重孝著作全集 全8巻	"	1940 ed. 3vols.	"
日本現代教育学大系 全12巻	"	1950 ed.	"
児童文化叢書 全45巻別巻解説書	"	A Critical Pronouncing Dictionary of the English Language. 1977	"
続生化学実験法講座 全8巻	医分館	宮沢賢治：初期研究資料集成 1セット	"
日本地質図大系 全8巻	本館	新日本古典文学体系 全100巻	"
化学大辞典 全10巻	"		
英国オープン・ユニバーシティ・ビデオ教材			
工業技術への基礎物理	"		
流体力学講座	"		
Endocrinology. 3vols.	医分館		
ラルース医学大事典	"		

### 図書館関係会議（学内） 平成3年5月-8月

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 5. 1 第2回図書・紀要編集委員会   | 6. 7 第7回附属図書館資料選定委員会 |
| 5.28 第5回附属図書館館報編集委員会 | 7. 3 第3回図書・紀要編集委員会   |
| 6. 7 第61回附属図書館委員会    |                      |

### 図書館関係会議・研修（学外） 平成3年5月-8月

- |   |  |
|---|--|
| 5.27 平成3年度国立大学附属図書館事務部課長会議<br>(於東京医科歯科大学 事務長) | (於静岡大学 事務長他2名)                                   |
| 6.13 第62回日本医学図書館協会総会<br>(於日本歯科大学 分館長, 森)      | 8. 2 平成3年度岐阜県大学図書館協議会総会・研修会<br>(於大垣女子短期大学 館長他5名) |
| 6.20 岐阜県図書館協会事務局長会議<br>(於岐阜県立図書館 事務長)         | 8.28 平成3年度図書館等職員著作権実務講習会<br>-30 (於岡山大学 山田(洋))    |
| 6.27 第38回国立大学図書館協議会総会<br>(於富山大学 館長, 他2名)      |  |
| 7. 5 第45回(平成3年度)東海地区大学図書館協議会総会・研究集会           |  |

## 図書館員から一言

### 傍嶋 敏雄

附属図書館に配置換えになり、早くも2年と半年が経過しました。総務係に所属し、会計事務を担当しています。事務室は1階にあり、2階の受付カウンターに立つことはほとんどありませんが、利用者あっての図書館です。一人でも多く図書館を利用されるよう心から願い、利用者のニーズに応えるべく、縁の下ではなく、1階の事務室において努力致しております。是非1回、否何回も御来館ください。

(そばじま としお)



### 山田 克良

医学部分館に勤務して早や十数年がたちました。現在は利用者が返納した図書を書庫に配架することと、新しく受け入れた図書の装備とその図書にタトルテープを挿入する仕事をしています。

毎日の仕事として、コンテンツサービスを行っています。雑誌の受入冊数の多い日は、午後から始めて半日かかることもありますが、先生方に一刻も早く最新情報を提供出来るよう頑張っております。

(やまだ かつよし)



## お 知 ら せ

- CD-ROM版朝日新聞のご案内  
本館に、「CD-HIASK'90」(朝日新聞CD-ROM版全文データベース)が入荷しました。1990年1年分の記事10万件が収録されています(関連記事 P.2, P.4)。
- 岐阜大学学術雑誌目録 欧文編 1991年版について  
昨年の和文編に引き続き、現在、欧文編の改訂作業を進めています。年内には刊行・配布できる予定です。

### 平成3年度購入図書の受付について

図書館資料、製本の受付は平成4年1月末日をもって締め切らせていただきます。

### 入退館管理システムについて

附属図書館では4年4月から、医学部分館では3年12月から、新たに入館管理システムを導入し、入退館管理システムとしての稼働を予定しています。これにより、入館時には「図書館利用証」が必要になります。詳細は掲示等でお知らせします。ご覧ください。

## 休館日のご案内

次のように休館日を予定しています。

- 毎月第二火曜日(附属図書館に限り2月は開館)
- 12月27日(金)～1月4日(土)

附属図書館では次の日も休館日となります。

- 1月11日(土)大学入学センター試験の日
- 2月25日(火)～26日(水)個別学力検査の日
- 3月25日(水)卒業式の日・4月7日(火)入学式の日

### 平成4年4月初旬まで

次のように夜間開館停止を予定しています。

附属図書館	1月6日(月)～1月10日(金)
	3月2日(月)～4月6日(月)
医学部分館	12月25日(水)～1月11日(土)

\*図書館内の案内・掲示に注意してください。

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第5号 1991年10月31日

編集 委員長：大谷 熨 委員：佐々木栄英、津田雅夫、永田 拓、河田幸男、  
小林かづ子、羽賀啓子

発行 岐阜大学附属図書館

〒501-11 岐阜市柳戸1番1 ☎0582-30-1111